

〈第3回留学報告書〉

お久しぶりです。皆様、お元気ですか？日本は、すでに夏のように暑いと聞きましたが、体調など崩されていないですか？イギリスは、ゆっくりと春から初夏へと移り変わっているところで、寮の窓を開けているとタンポポの綿毛が風に運ばれて部屋に入ってきます。日中は 20℃くらいまで気温が上がりポカポカと気持ちのよい陽気で、新緑も美しく、数ヶ月前の日照時間が短く寒々としていた冬がうそのように感じられます。

実は、先週で2学期の授業が全て終了しました。年が明けてから、次の課題、次の課題と取り組んでいるうちにあっという間に半年が過ぎようとしています。5月15日には主要科目の「CSR(企業の社会的責任)」の試験があり、3時間ボールペンで論述試験の答案を書き続けました。A4サイズの解答用紙が6ページくらい埋まったと思います。ラベルを剥がした水のペットボトルとボールペンしか持ち込むことが許されない厳格な試験で緊張もしましたが、約1ヶ月間、授業の復習と試験勉強に専念したおかげでなんとか乗り切ることができました。この期間、ほぼ毎日図書館に通っていたのですが、同じく試験勉強をする学生達で朝の10時には満席になってしまうので、8時半前には図書館に着くようにし、起きてから寝るまで試験勉強をしていたように思います。本番のためにボールペンで論述を書く練習をしていたら、数年ぶりにペンだこができ、めずらしいものを見る気分で自分の指を見つめてしまいました(エッセーなど他の課題は、ずっとパソコンで書いていたせいもあると思いますが)。こちらの学生は試験前、ほぼ寝ないで毎日勉強するのだそうです。ものすごい緊張感と集中力を見習って私も必死で勉強した1ヶ月間でした。21日には、修士論文のテーマと今後の研究計画について発表するプレゼンテーションがありました。私の研究テーマは、「日本企業がCSR活動を通じて、どのように開発途上国の発展に貢献することができるか」というものですが、教授にもとても興味深いテーマだと言ってくることができ、これからの研究と論文作成へのモチベーションが上がりました。

少し前になりますが、2月12日に1140地区のミーティングで10分間のスピーチをさせていただきました。ロンドンより南にあるSurrey州のロータリークラブから100人程のロータリアンが集まっていました。10分間のスピーチの内容は、自己紹介、学習の内容、日本文化の紹介をしてほしいと言われていました。日本人留学生の多いイギリスで、どんな日本文化を紹介したらいいのか悩んだ結果、私は日本の四季を愛でる心を伝えたいと思いました。事前にカウンセラーのマーガレットさんに内容のチェックをしていただいたおかげで、本番は落ち着いてプレゼンテーションをすることができました。パワーポイントを使い、自分の名前の紹介も兼ねて「千穂」という漢字の意味はA thousand ears of riceと伝えたところ、会場から笑い声が聞こえてきました。お米の国から来た私は、夏の青々とした田んぼと、秋の黄金に輝く収穫時の田んぼの写真を見せ、日本の美しい風景を紹介しました。その後、「もののあはれ」という平安時代の美的表現を紹介し、日本には四季の移り変わりに情緒を感じ、特に、数日しか保たない満開の桜が散って行く光景に「もののあはれ」を感じて溜め息をついてしまうのですと紹介しました。イギリスでも日本の桜は美しいことで知られており、こちらにも四季があることで共感が得られたのではないかと思います。大学院での専攻も、企業のビジネスを通じた開発途上国への貢献について学ばせて頂いていることを報告しました。スピーチの後、大きな拍手をもらい、ガバナーさんや複数のロータリアンの方からお褒めの言葉をいただくことができ、とても

嬉しかったです。残念ながら写真はないのですが、皆様に私の喜びを少しでも伝えられたらいいなと思います。

以下、こちらでの様子が伝えられるよういくつか写真をお見せします。



3月12日：ボランティアプロジェクトの成果発表プレゼンテーションの後にコースメイト・先生方と共に(皆が作ったポスターの前にて)



1月から週一度参加させて頂いていた環境保護団体ナショナルトラストでのボランティア活動にて。春に向けて、細い木の切り出しや枝の剪定行っている様子。



3月20日:コースの一環のフィールドトリップにて、ロンドンのテムズ川左岸の都市開発について学び、持続可能な都市について考える。1990年代から2012年オリンピックを経て目覚ましく開発が進んでいる地帯を教授の説明を聞き、コースメイトと議論をしながら見学。上写真：元調味料会社の工場が人気商業施設に生まれ変わっており、その最上階のレストランのベランダにて。左写真：ビルの屋上を利用したお魚ファームにて。下段で小魚を飼い、その糞の養分と水を使って上段で野菜の栽培をしている。